

**緊急アンケート実施！**

～6月1日「ペットフード安全法」施行～

**ペットフードの選択基準は「原材料」「栄養バランス」「原産国」**

- ペットの食事も「安心」「安全」「健康」志向が強まる
- 半数の飼い主が「ペットフードの安全性が不安」と回答

6月1日に「愛がん動物用飼料の安全性の確保に関する法律（ペットフード安全法）」が施行され、人の「食の安全」同様に、ペットフードの安全性に対する意識も高まっています。

アニコム損害保険株式会社（代表取締役社長：小森 伸昭）では、ペット保険「どうぶつ健保」の契約者を対象にペットフードに関するアンケート調査を行いました。（有効回答数：1,838）

**■ 食事の種類**

普段あげている食事の種類では、「市販のフード」（39.3%）が最も多く、「年齢別、目的別などのプレミアムフード」（36.6%）が続きました。また、「手作り食」や「市販のフード+トッピング」と食事に手をかけてあげる飼い主の合計も38.1%という結果になりました。

あげている食事の種類	人数(人)	割合(%)
市販のフード	723	39.3
年齢別・品種別・目的別などのプレミアムフード	672	36.6
市販のフード+トッピング	394	21.4
手作り食	307	16.7
療法食	279	15.2

複数回答

**■ 市販のフードを選ぶ基準**

市販のフードを選ぶ基準のうち「一番重視する項目」は、トップが「原材料」（19.0%）で、以下「栄養バランス」（16.9%）、「原産国」（11.5%）と続き、安全性や健康面を重視してペットフードを選んでいることがうかがえます。

選ぶ際に最も重視すること	人数(人)	割合(%)
原材料	349	19.0
栄養バランス	310	16.9
原産国	211	11.5
添加物(無添加)	201	10.9
メーカー	130	7.1
どうぶつの好み	124	6.7

複数回答

**■ 食事に関する悩み、手作りの理由**

食事に関する悩みでは「ペットフードの安全性が不安」という回答が最も多く、食事を手作りしている理由でも「手作りだと安心」と答える飼い主が6割に上り、「健康によいから」手作りをしているという回答も半数を超えています。

「アレルギーがあるので原材料に注意している」「適正体重を保つため量を計ってあげている」「手づ

くりで栄養が不足しないようバランスに気をつけている」「持病を予防するためにサプリメントをトッピングしている」などのコメントにも見られるように、ペットの食事についてのキーワードも人間同様に「安心」「安全」「健康」であることが明らかになりました。

食事に関する悩み	人数(人)	割合(%)
ペットフードの安全性が不安	894	48.6
選択基準がわからない	289	15.7
食べすぎで肥満傾向である	258	14.0
偏食をする	189	10.3
進んで食べようとしない、食欲があまりない	169	9.2

複数回答

手作りしている理由	人数(人)	割合(%)
自分で作ると安心だから	205	59.8
健康によいから	181	52.8
手作りのほうが好んで食べるから	140	40.8
市販のフードを食べないから	52	15.2
わが子のための料理が楽しいから	46	13.4
家族と同じものを食べさせたいから	31	9.0

手作りの経験がある飼い主（343人）による複数回答

### ■ペットフードの購入場所

わが子を迎えたペットショップで購入する方が多いようです。また、ホームセンター・ディスカウントストア・ドラッグストアで日用品の買い物の際に購入する方も多くみられました。通信販売でオーガニック、無添加のフードを購入しているという声も聞かれました。

ペットフードの購入場所	人数(人)	割合(%)
ペットショップ	588	32.0
ホームセンター・ディスカウントストア ドラッグストア	540	29.4
通信販売	509	27.7
動物病院	332	18.1
スーパー・コンビニエンスストア	107	5.8
その他	59	3.2

### ■1ヶ月にける費用

1ヶ月の食事にかかる費用を聞いたところ、主食フードの平均が2,963円、おやつが1,109円という結果でした。また24%の飼い主がサプリメントを利用して、その平均は1,889円でした。

【調査方法】アニコム損保のペット保険「どうぶつ健保」の契約者を対象にインターネット上でアンケートを実施

【実施期間】2009年6月8日～6月14日（有効回答数 1,838）